

フォーラムのアンケート結果
平成25年年11月23日 みえ不登校フォーラム「それぞれの成長を考える」

参加者数	112	回答率
アンケート回答数	67	59.8%

1 本日のフォーラムについて、どのようにしてお知りになりましたか？（複数回答あり）

学校からのチラシ	15	22.4%
学校以外からのチラシ	10	14.9%
ダイレクトメール	12	17.9%
ホームページ	4	6.0%
新聞	5	7.5%
その他	21	31.3%
計	67	100.0%

2 どのようなお立場でご参加されましたか？（複数回答あり）

保護者・身内	28	41.8%	
教職員	11	16.4%	
適応指導教室指導員	4	6.0%	
支援員	3	4.5%	
スクールカウンセラー	2	3.0%	
臨床心理士	2	3.0%	
大学生	2	3.0%	
その他	15	22.4%	不登校経験者、小児科医、社協職員、相談員、セラピスト、未記入
計	67	100.0%	

3 本日のフォーラムについて、どうお感じになりましたか？

よかった	60	89.6%
ふつう	7	10.4%
よくなかった	0	0.0%
計	67	100.0%

4 本日のフォーラムについて、何かご感想があればご記入ください。

- ・ 当事者の話が参考になった。話を聞いて良かった。(24)
- ・ 大切にしたいキーワードがたくさん見つかった。
- ・ 希望が持てた。元気をもらった。(3)
- ・ 不登校を今後活かす強い生き方を学んだ。
- ・ 誰でも不登校になる可能性はあると思った。
- ・ 子どもに寄り添いたいと思った。細やかな見守りや関わりが大切だと思った。(2)
- ・ 自分の方針が正しいと確信できた。
- ・ 担任している子どもへのアドバイスの材料になった。
- ・ 色々な支援を知ることができた。支援機関の具体的な内容を知ることができた。(6)
- ・ 一人じゃないと思えた。
- ・ いろんな選択肢があることを嬉しく思う。
- ・ これからも支援をがんばろうと思った。
- ・ ギター演奏が良かった。
- ・ 不登校は、人とタイミングだと思った。
- ・ 人を信頼するつながりの中で成長されてきた力を感じた。(第1部)
- ・ 無条件で存在を認める自己肯定感など、心に響いた。
- ・ 下心のないほめ方、一緒に生きていてうれしいという思いで、関わっていきたいと思った。(2)
- ・ 貴重な経験をした。教師になったときに、とても役に立つと思う。
- ・ それぞれの子どもにあう居場所が必要だと思った。
- ・ 色々な人の話を聞いてよかった。(2)
- ・ 子どもたちがこういう考えでいる、ということが分かった。
- ・ このような場がもっとあればいいと思う。
- ・ コーディネーターや支援者の話の全てからヒントをもらった。
- ・ 当事者の話には説得力があった。深い内容だった。(3)
- ・ 考える機会を与えてもらった。
- ・ ほめることの難しさ、人とのコミュニケーションが人を生かす、この2つが参考になった。
- ・ 学校でに行くことにこだわる自分と、学校に行かない生き方もあると思える自分、自分の中に矛盾がある。
- ・ 質問の時間をつくっていただいて良かった。
- ・ 人は人に傷つけられ、癒される。子どもも大人も同じと思った。

5 次回からのフォーラムで、希望される内容があれば記入ください。

- ・ 悩んでる人からアンケートをとり、質問に答える方式。
- ・ 不登校に悩んでいる時期の状態をもっと詳しく。
- ・ 保健室登校してる子どもの気持ち。
- ・ 現在、不登校に悩んでいる子どもの気持ち。
- ・ 保護者の考え。保護者がどう接していくべきか。家族の話。(4)
- ・ 聴衆がもっと参加できるような内容。
- ・ もっと頻繁に開催してほしい。
- ・ 次回も不登校経験者の話。(4)
- ・ 発達障害に関わっているスタッフの話。
- ・ 質疑応答の時間を増やす。
- ・ 不登校から脱却した人の話をたくさん聞きたい。
- ・ 自閉症スペクトラムの子どもの不登校。
- ・ 保護者の出演。(2)

(カッコ内は人数を示す。内容は編集・抜粋している)

6 「みえ不登校支援ネットワーク」について、これからどのようなことを期待されますか？
また、どのようなことを行ってほしいと思われませんか？

- ・ 子どもたちの悩みに寄り添うような取組。(2)
- ・ 就職するまでの途切れない支援をもっと周知してほしい。
- ・ 学校という枠に縛らない、コミュニケーションの場やフリーマーケット等の企画の提供。(2)
- ・ 支援の場を増やしてほしい。居場所、クラブのような場を増やしてほしい。(3)
- ・ もっと情報発信してほしい。(4)
- ・ ネットワーク団体を増やしてほしい。
- ・ 経験者の公演・フォーラムを継続、増やしてほしい。(4)
- ・ 学校以外の選択肢が理解されるような社会に向けての取り組み。
- ・ 教員や支援者対象の研修会。
- ・ 不登校支援についての書類の出版。
- ・ 不登校が個人の責任でなく、社会的な問題であるということの啓蒙活動。
- ・ 初期対応についての情報をもっと知りたい。
- ・ 学校との連携。
- ・ 不登校になった子どもの様々な進路について知りたい。
- ・ もう少しゆるいパネルディスカッション。
- ・ 「生きていけばいい」くいらいのスタンスの内容のフォーラム。
- ・ 就業や経済的自立の意識に向けた支援

7 「いじめの声」については、別紙に掲載。

8 他に何かメッセージなどございましたらご記入ください。

- ・ 有意義な時間をありがとうございました。
- ・ キャラを作らなくても過ごせる場が、ほめなくても自分を認められることにつながると思いました。
- ・ 世界が広がりました。また話を聞きたいです。
- ・ 参加者が多く、このネットワークの大切と子どもに向き合う大人が動き出しているのを感じました。
- ・ 私も自分らしく生きていこうと、出演者の方々に思わせてもらいました。
- ・ これからもご支援お願いします。
- ・ 先生はもっと子どものことを考えてほしい。
- ・ 岡さんのギターパフォーマンスがとてもよかった。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 「ほめることが良い方向だとは限らない」という言葉が新鮮でした。
- ・ とてもよい企画でした。ありがとうございました。
- ・ 大人が理解し、見守ることで克服できることが分かりました。
- ・ 不登校になる子どもは、繊細な子が多いと思う。デリケートにフレンドリーに接してほしい。
- ・ 相談だけでなく、具体的に動ける専門家を全ての学校に配置すべき。

(カッコ内は人数を示す。内容は編集・抜粋している)